

# 教育支援センターだより

第32号 発行日 令和5年9月15日

## 子育てや家族、学校のことでも悩んでいませんか？



### 【子育てや成長・発達に関すること】

- ・ 反抗的になり接し方がむずかしい
- ・ 子育てに自信がもてない、子育てが不安
- ・ 落ち着きがなく、こだわりが強い

等

### 【学校生活に関すること】

- ・ 不登校のこと、登校しぶり
- ・ 勉強についていけない
- ・ 集団にうまく入れない、友達ができない

等

**ひとりで悩まず、お電話ください**

### ★ご相談の流れ

受付 ☎：60-1899  
60-1922（相談専用電話）

- ・ お困りのことについて簡単におうかがいします。
- ・ センターに直接来てのご相談か、あるいは電話でのご相談かの希望をおうかがいします。直接来られる場合は実際に教育支援センターに来所される日程や時間を決めます。

### 電話相談

ご相談の内容によっては、お電話で終了する場合があります。

### 初回の相談

- ・ お困りのことについてさらに詳しくうかがっていきます。
- ・ おうかがいした内容から、見立てや教育支援センターでどのようなことができるか方針をお伝えします。

### 終了

ご相談の内容によっては1回で終了する場合があります。

- ・ フォローアップ
- ・ 他機関の紹介

### 継続して相談する場合

#### ☆ 保護者の方とは…

お子さんについての理解を一緒に深めながら、保護者の方が責任と自信を持って子育てに取り組めるようサポートします。

#### ☆ お子さんには…

カウンセリングやプレイセラピー（遊戯療法）を通して気持ちの安定をはかり、自分自身や自分の行動について理解を深めていきます。

\*お子さんの理解をより深めるために、相談のなかで取り入れることがあります。

- ・ 発達検査、知能検査など
- ・ 医療相談（囁託医による）
- ・ 学校、病院など他機関との連携、連絡

相談の終了

教育支援センターでは、上記の教育相談支援の他にも、子どもと子育て家庭に対して様々な支援を行っています。

#### ○スクールソーシャルワーカー【電話受付：60-1971 月～金 9:00～17:00】

小中学生の不登校や家庭の問題等の相談に対して福祉の専門職として学校訪問や家庭訪問、同行支援などを行います。

#### ○チャレンジルーム【電話受付：56-2052 月～金 9:00～17:00】

不登校の小中学生が通う施設です。相談支援、学習支援、集団活動支援、進路指導などを行います。

#### ○むさしのクレスコーレ【電話受付：60-1971 入室のご相談はスクールソーシャルワーカーへ。】

不登校の中学生が安心して自由に過ごせる居場所です。体験学習、個別相談、訪問支援を行います。

#### ○帰国・外国人教育相談室【電話受付：54-8626 月～金 10:00～17:00】

帰国、外国籍及び国際結婚家庭の小中学生の日本語指導、言語サポート、学習支援、通訳・翻訳等の支援を行います。



★令和5年7月19日に開催した講演会の内容を要約して掲載いたします★  
子育て中の保護者のみなさまに、お子さんの成長や発達を見守る上で参考といただければ幸いです。

## 子どもの多様性を尊重するために

渡辺 大輔 先生

埼玉大学 基盤教育研究センター 准教授

日頃、お子さんとの関わり方に戸惑ったり悩んだりすることはありますか？特に思春期は自立に向けて成長する時期ですが、心も体も揺らぐ時期とも言えます。“自分や相手を大事にすること”を伝えていくために、今回は性の多様性という視点から子どもをどう理解し、接していくかをご紹介します。

### <あなたには思い込み（バイアス）は、ありませんか？>

私たちの性に関する思い込みは、個人・家庭・学校・職場・文化・社会など、あらゆるところに深く浸透しています。私たちの思考プロセスに大きく影響しているものの中に、以下の3つがあります。

#### ◆ジェンダーバイアス

性別役割に関する思い込み

例：職業による性別の思い込み → パイロットは男性、キャビンアテンダントは女性 等

#### ◆異性愛（中心・至上）主義

カップル、夫婦は異性間のものだという思い込み

#### ◆シスジェンダー（中心・至上）主義

生まれた時に戸籍についた性別を中心に物事を考え、トランスジェンダーを想定しない思い込み

※シスジェンダー：こころとからだの性が一致している人、トランスジェンダー：こころとからだの性が一致していない人のこと。多様な性の在り方については、次のページで詳しく説明します。

### <「女らしさ」「男らしさ」「あなたらしさ」って、なんだろう？>

「男の子だから、泣かないの」「髪の毛が長くて綺麗だね、さすが女子」「母親なら料理が上手でないといけない」。これらも思い込みの一つといえるでしょう。まずはこれらの思い込みを持っていると気づくことが、考え方を変える第一歩となります。

例：学校行事の準備にて…「男子は荷物を運んでください。女子は装飾の裁縫をしてください。」

手先が器用だから、  
裁縫がしたかったな



運動が好きだから、  
身体を動かしたいな

「〇〇らしさ」を使うことで行動を強要・制限し、新しい挑戦がしにくくなったり、元々もっている長所を見つけにくくなったりするかもしれません。周りから言われる「女/男らしい」「あなたらしい」ことに捉われず、自分の思いや相手の思いを大切にしましょう。

## <私たちの「性」の要素>

説明の仕方は様々ありますが、今回は5つの要素についてご紹介します。

### ①性自認

(こころの性)

「あなたの性別は？」と聞かれた時に答えたくないもの、私の性別

### ②身体の特徴

(からだの性)

生物学的・解剖学的性のこと

### ③性表現

外見やしぐさ、言葉遣いといった、意識的・無意識的に表現しているもの

### ④性的指向

自分が好きになる性のこと  
両性とも好き、無性愛も含まれる

### ⑤制度的性別

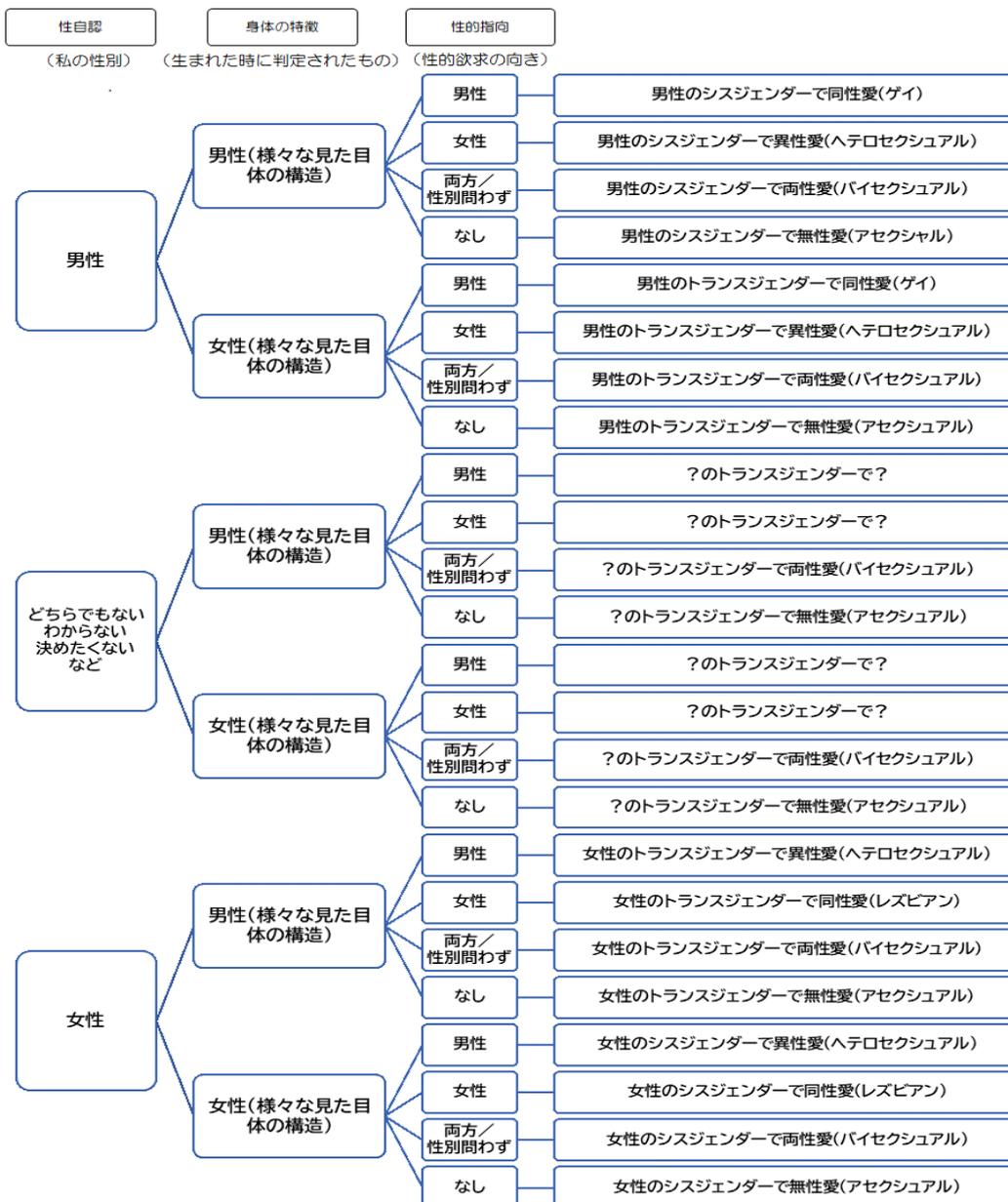
法律上の性別  
戸籍の性別（戸籍には長男等、続柄で表記されている）

これらのことを【**SOGIE**（読み方 ソジーまたはソギー等）**S**exual **O**rientation **G**ender **I**dentify, **G**ender **E**xpression：性的指向・性自認・性表現】と言うこともあります。

皆さんはご自身の性の要素について、どのように思っていますか？性の多様性の話は誰かの話ではなく「私の話」、私たちみんなの話になります。

## <多様な性の樹形図>

私たちの「性の在り方」の一例を樹形図にすると、以下のような図になります。



性の在り方は、少なくとも24通りあります。その為、左の図は一例にすぎません。  
「近年、性の在り方が多様化している」のではなく、もともと多様だったものが可視化されただけなのです。



## <私たちの多様性について>

こころの性は女性、からだの性は男性で、好きになる性は問わないよ。

色々な国の料理を食べることが大好きなんだ！

こころの性もからだの性も女性で、好きになる性は男性です。

子どもの頃から図工が好きで、アートの勉強をしたいと思ってるよ！

他にはどんな人がいるかな？  
あなたはどんな性？

こころの性もからだの性も女性で、好きになる性は男女両方です。

本を読むのが好き！  
推理小説をよく読むよ！



こころの性もからだの性も男性で、好きになる性も男性です。

とっても暑がりなんだ。  
だから、好きな季節は冬！

こころの性、からだの性、好きになる性を組み合わせると、とてもたくさんの性の在り方があります。そして、同じ性の在り方の人にも違いがあり、違う性の在り方の人でも共通点があります。性の在り方は、その人を構成する様々な要素のうちの一つでしかありません。しかし大切な要素の一つです。

そして、性に限らず、「私たちの多様性」を考えていくことも大切です。例えば、人種や宗教、出身地、障害、言語、職業、趣味、好きな食べ物など…、ひとりひとりが違いを認めあい、個人を尊重することが、多様性を考えることの土台になります。

## <相談を受けたときは…>

- ◇ 日頃から相談してもらえそうな関係をつくる
- ◇ 話を聞く
- ◇ 否定しない
- ◇ 決めつけない
- ◇ 課題を一緒に整理する
- ◇ 他者に相談（共有）してもいいか確認する  
(誰に話しているか、誰に話していいかを確認する)

秘密を守って、無料で話を聞いてくれる場所もあります。  
ご本人、ご家族、ご友人、どなたでも利用できます。

### むさしのにじいろ電話相談

性的指向・性自認に関する相談

電話相談専用ダイヤル： 0422-38-5187

【第2水曜 17:30~20:30】



まずは子ども本人が相談できる環境を作ることを心掛け、

「相談されたらどうしよう…」ではなく、「相談してもらうにはどうしたらいいかな」と考えましょう。

そのために日頃から本人の意見が言える雰囲気づくりや親が多様性を尊重している姿を見せることが大切です。

無断での複製、引用、ネットへの掲載などは固くお断りします。  
問い合わせなどありましたら、下記までお願いいたします。

発行 武蔵野市教育委員会 教育部教育支援課 教育支援センター  
所在地 〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町4-11-37  
電話番号 0422-60-1899  
0422-60-1922 (電話相談・FAX)